

ユニセフが活動している国と地域

国名
ユニセフが支援活動をしている
国と地域

●
ユニセフ協会が活動している
国と地域

※32の先進国・地域には、ユニセフ本部との協力協定により、各國において唯一、ユニセフを民間で代表するユニセフ協会がおかれています。(2025年1月現在)

UNICEF ユニセフの歴史

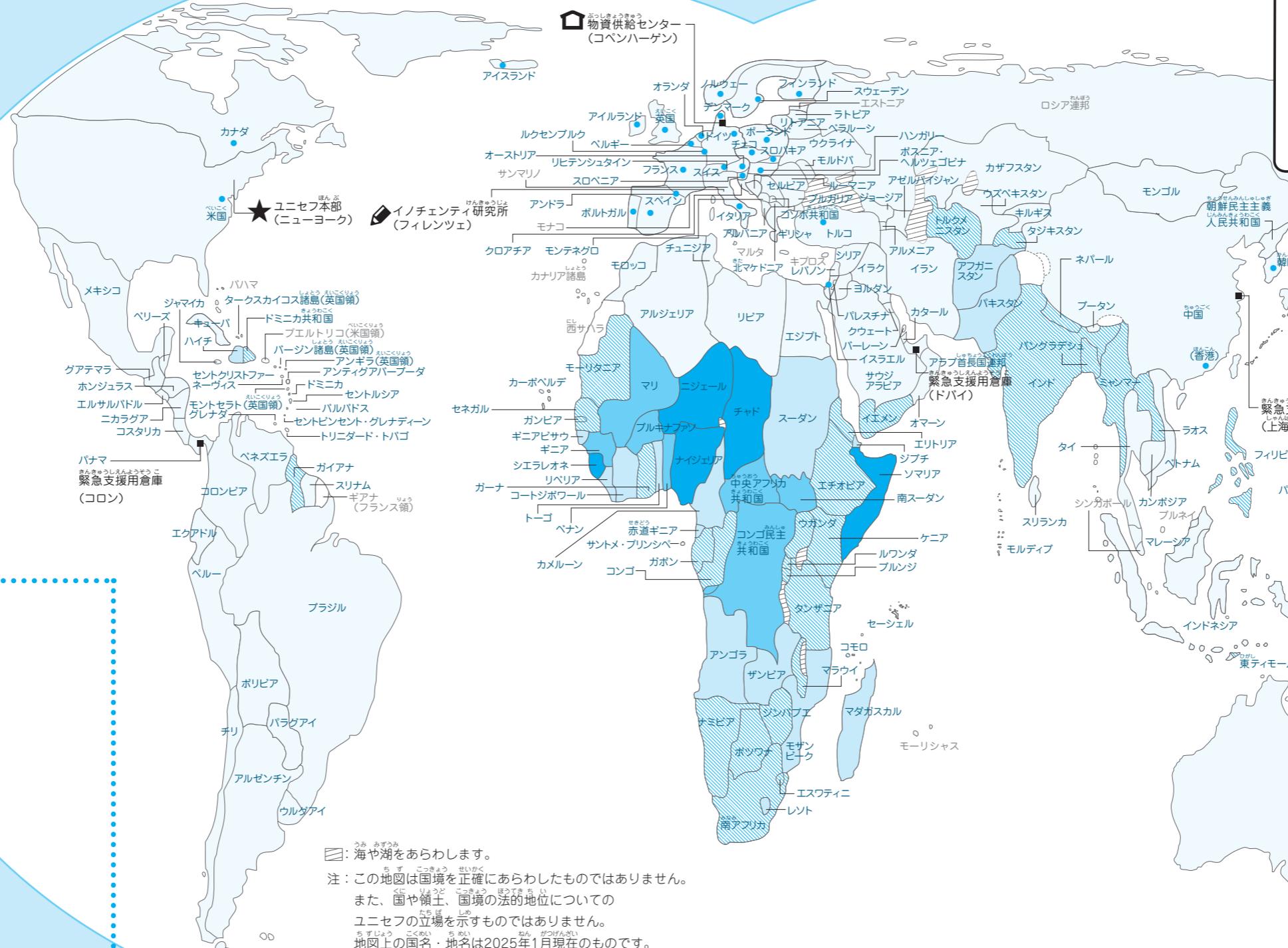
- 1946 - 第2次世界大戦(1939~1945)の後、戦争で被害を受けた子どもを助けるために国連の総会でユニセフ(United Nations International Children's Emergency Fund: 国際連合国際児童緊急基金)がつくられ、戦災国で支援活動を始める
- 1949 - 日本での支援活動が始まる (粉ミルクの支給など)
- 1953 - 国際連合児童基金(United Nations Children's Fund)と名を改め、活動の中心を開拓する
- 1955 - 財団法人日本ユニセフ協会ができる
- 1959 - 国連で「児童の権利宣言」が採択される
- 1964 - 日本への支援活動が終わる
- 1965 - ノーベル平和賞を受ける
- 1979 - 國際児童年、ユニセフへの理解と協力が広がる
- 1989 - 國連で「子どもの権利条約」が採択される
- 1990 - 「子どものための世界サミット」が開かれる
- 1994 - 「子どもの権利条約」を日本が批准する
- 2002 - 「国連子ども特別総会」が開かれる
- 2011 - 公益財団法人日本ユニセフ協会となる
- 2021 - ユニセフ創設75周年を迎える
- 2024 - 「子どもの権利条約」採択35周年、日本批准30周年を迎える

日本もユニセフに助けてもらっていたんだよ

日本も、第2次世界大戦が終ったあと、ユニセフから、給食用の粉ミルクや、服をつくるための綿、薬などの支援をうけていました。ユニセフの支援は1949年から1964年(東京オリンピックの年)まで15年間にわたり、当時のお金で65億円分になりました。また、東日本大震災では、ユニセフのサポートを受けながら、日本ユニセフ協会が支援活動を行いました。



世界の5歳未満児死亡率



ユニセフは、最も支援を必要としている子どもたちに支援が届けられるように、

1 5歳の誕生日をむかえるまでに命をうしなう子どもの割合

2 国民1人あたりの所得

3 子ども(18歳未満)の人口

この指標を重視して優先順位を判断し、各国・地域に予算を配分しています。

日本ユニセフ協会

UNICEF東京事務所

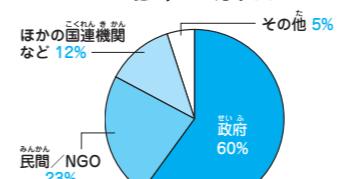
緊急支援用倉庫

(上海)

Q. ユニセフにはどれくらいのお金が集まっているの?

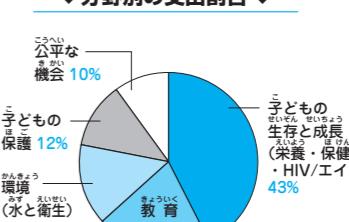
◆収入の内訳◆

89億3,200万米ドル



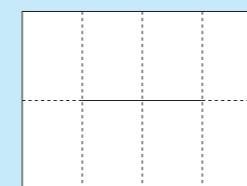
Q. そのお金はどんなことに使われているの?

◆分野別の支出割合◆

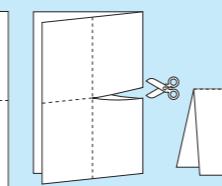


手帳の作り方

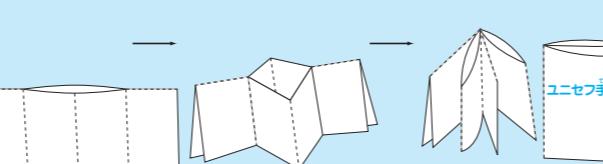
①折り目、切り口



②折り方



③折る(地図を内側にする)



できあがり